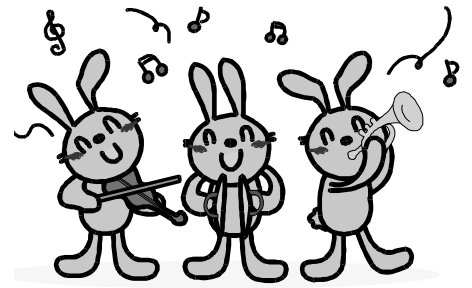


Let's 子育て!

子ども同士のケンカ… 親の出番はいつ?



兄弟姉妹に限らず、子どもが数人集まればそのうちにケンカが始まるものです。兄弟ケンカならともかく、ほかの家の子どものケンカでは、状況に関係なく親としてつい我が子を叱ってしまいがち。

「相手にケガをさせたら大変!」という気持ちが優先するでしょう。つまり、子どものケンカは親の判断で仕切られてしまう傾向にあるのです。

しかし、「ケンカ両成敗」と言うように、子ども

には子どもの言い分があるはず。子どもがケンカを始めたら、親としてどのような態度をとることが望ましいでしょうか。

ある育児コンサルタントによれば、親が仲裁に入る場合、ある程度ケンカの様子を見てから、まずは両方の言い分を聞く。その上で、ケンカをしている子どもたちの気持ちを理解して、「どっちが悪い」という判断を親がしないことが大切だと言います。

親の出番は、子どもの気持ちが落ち着いてきた時。「**これからは2人で仲良く遊ぼうね**」と笑顔で語りかけ、仲直りのきっかけを作ってあげれば、あとは子ども同士で何とかするそうです。

ただし、子どもが暴力をふるい出したら、すぐに仲裁に入りましょう。「男ならやり返せ」と子どもを元気付ける?父親がいますが、この発想は腕力で物事を解決する習慣をつけてしまう恐れがあるので危険ですよ。

